

# セメント系無収縮モルタル DSマスモル

プレミックスタイプ

低発熱 低乾燥収縮

**D** 株式会社 大 東

## 特長

- 1 低発熱性 部材の温度応力が低下するので、施工段階における温度ひび割れを抑制します。
- 2 低乾燥収縮 乾燥に伴う収縮が少なく、脱型後のひび割れ発生が起こりにくくなっています。
- 3 無収縮性 ノンブリーディング性であり、かつ膨張収縮率がほぼゼロ(水和収縮がない)であるため、充填後に構造物との一体化が図れます。
- 4 高流動性 高流動性と優れた自己充填性を有し、間隙を容易に充填します。
- 5 強度発現性 低発熱型にもかかわらず、安定した強度発現性があります。

## 適用

- とう道標準部及び特断部・立坑
- マンホール側壁・床 など

## 用途

- 劣化部補修 型枠設置(側壁・天井・柱・桁など)
- 機械基礎
- 歩床部流し込み補修
- 可とう継手等の躯体補修
- 構造物補強・耐震補強(とう道坑口補強、柱・壁・天井増厚、スティック部型枠充填など)

## 標準配合

<1袋(20kg)当たりの標準配合>

| 項目<br>製品 | 適用温度範囲<br>(°C) | 静置フロー値<br>混練直後(mm) | 水/材料<br>(%) | 質量(kg) |     | 練上り量<br>(ℓ/袋) | 1㎡当たり<br>の使用量 |
|----------|----------------|--------------------|-------------|--------|-----|---------------|---------------|
|          |                |                    |             | 材料     | 水   |               |               |
| DSマスモル   | 5~35           | 130~180            | 14.0        | 20     | 2.8 | 10            | 100袋          |

## 使用方法

### 1 準備

#### a) 材料・道具

- DSマスモル、清浄な水、攪拌容器等
- モルタル専用高速ミキサー ※アルミ合金製は使用不可

#### b) 施工部の前処理

- 金属部やコンクリート部の油分や汚れを除去して下さい。
- 躯体にQRプライマーを塗布して下さい。

### 2 練り混ぜ

- 攪拌容器に所定量の水を入れ、DSマスモルを徐々に投入しながら攪拌して下さい。
- 本練り: 粉体材料全量投入した後、3分間練り混ぜて下さい。

### 3 施工

- 充填時に巻き込み空気や未充填部が残らないように処置を行って下さい。

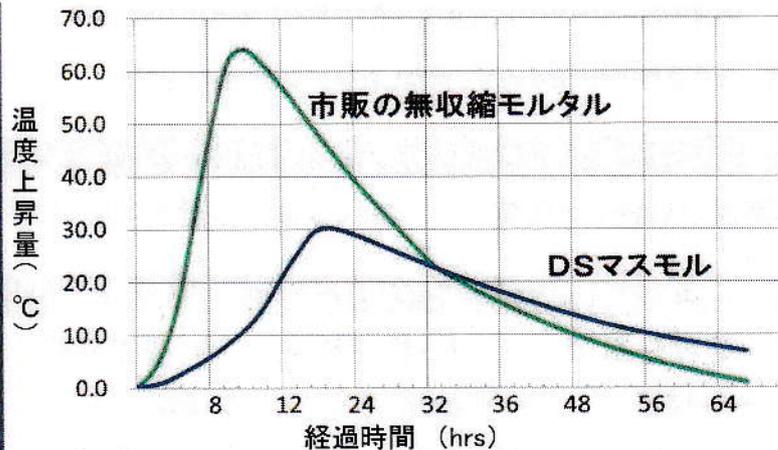
### 4 養生

- 施工後は必ず養生を行って下さい。露出部分は急激な乾燥等によりひび割れが発生することがあります。
- 脱型は打ち込み後3日以降に行ってください。

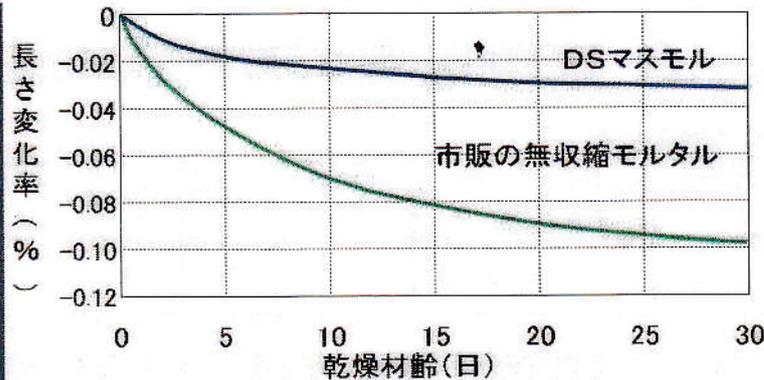
# 物性試験例 (20°C)

| 試験項目      | 単位                | 品質規格値   | 試験結果    | 試験方法                     |
|-----------|-------------------|---------|---------|--------------------------|
| 静置フロー値    | 0分                | mm      | 130~180 | JASS 15 M-103 に準拠        |
|           | 60分               | mm      | 100~150 |                          |
| ブリーディング率  | %                 | 0       | 0       | JSCE-F533 に準拠            |
| 凝結時間      | 始発                | 時:分     | 4時間以上   | JIS R 5201 に準拠<br>(凝結試験) |
|           | 終結                | 時:分     | 24時間以内  |                          |
| 圧縮強度(28日) | N/mm <sup>2</sup> | 30~60   | 41.6    | JIS A 1108 に準拠           |
| 付着強度(28日) | N/mm <sup>2</sup> | 1.0以上   | 2.4     | JIS A 1171 に準拠           |
| 長さ変化率     | %                 | -0.05以下 | -0.03   | JIS A 1129-2010 に準拠      |
| 体積膨張収縮率   | %                 | 0~0.5   | 0.13    | JSCE-F542 に準拠            |

## 簡易断熱温度上昇試験



## 長さ変化率試験



### 【施工上の留意事項】

- ・気温5°C以下での施工は中止して下さい。
- ・施工中又は施工後、降雨降雪の恐れがある場合は施工を見合わせて下さい。
- ・本品は既調合品です。弊社指定以外の材料(砂、セメント等)の追加混合はしないで下さい。
- ・混練り時及び施工時にはゴム手袋、防塵マスク、防塵メガネ等の保護処置をとって下さい。

### 【保管上の留意事項】

- ・保管は、雨露のかからない湿気の少ない所で行って下さい。
- ・購入後、3ヶ月以上経過したものは使用しないで下さい。
- ・開封後は出来るだけ早く使用して下さい。
- ・寒冷時には、混練り用の水が凍らない様に注意して下さい。

### 【安全性上の注意事項】

- ・目に入った場合は、清水でよく洗浄(10分~15分)した上で、直ちに眼科医の手当を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合は、汚れた衣服や靴等は脱ぎ、付着した部分を水又は微温湯でよく洗い流して下さい。
- ・あやまって飲み込んだ場合は、清水で口中のうがいをを行うと同時に胃の内容物を吐き出し、直ちに医師の手当を受けて下さい。

※詳細につきましては、製品安全データシート(SDS)をご参照ください。カタログの記載内容は2017年5月現在のものです。カタログに記載の数値は標準値であり、保証値ではありません。

製造・販売元

**D 株式会社 大 東**

東京都足立伊興3-23-28-103  
 TEL 03-3853-5507  
 FAX 03-6674-3439  
 E-mail daito7@jcom.zaq.ne.jp